

官

令

○文部省告示第壹號

從來當省直轄學校圖書館教育博物館等へ圖書物品ノ類サ寄附候節ハ皆轉廳ヲ經由シ來リ候處自今本人ノ便宜ニ依リテハ直ニ其學校館等へ申出ルモ不苦候條此旨告示候事

但寄附品ノ種類ト本人ノ請願ニ依リテハ其寄附ヲ受クベキ學校館等ヨリ運送費ヲ支給スルコトアルベシ

明治十六年八月廿八日 文部卿 福岡孝弟

叙任賞勳

○八月廿七日 贈一品

○七月十三日 住歩兵大尉 步兵中尉從七位勳六等 森 利邦

伊藤參議ノ心中喜憂就レカ大ナルヤ

久々ク他鄉ニ在リテ再ビ故郷ニ歸リ舊友親戚ニ接シ相識

ノ山水風月ニ對シテ別來ノ情ヲ述ルハ人間ノ一快樂事ト

モ稱スペク古來万國詩人歌人ガ其趣ヲ寫シ出シテ人ノ感

情ヲ動カレタルハ甚々普通ノ事ニシテ貧富貴賤老若男女

ノ別々能ク此樂ミノ眞味ヲ解セザルモノハアラシ然レ

モ故郷ニ歸リ來リテ再ビ舊友ニ遇ヒタルノ情ハ必ズシモ

樂ミノミニ限ルベカラズ間マ或ハ喜ビノ中ニ悲ミナ交ヘ

其憂ノ甚ダシキニ至リテハ折角ノ樂ミモ遂ニ其力ヲ暢發

スルト能ハズシテ止ムフナキニアラズ例ハ片田舎ニ生

立チシ少年ガ一日志ヲ立テ、都會ニ遊學シ五七年ノ勉強

ニ學業大コト達シ天晴レ一個ノ獨立男兒ト成リテ遙々故

郷ニ歸リ來リ久方振リニ父母親戚ニ對面シ竹馬ノ朋友ヲ

訪ヒテ其機嫌ヨキ顔ヲ見ルサヘ喜バシキニ況シテ小妹ハ

人ニ嫁シテ家政ヲ司トル身ト成リ大兄ハ妻ヲ迎ヘテ一家

ニ起シ居ルナド日出度キ事ノ數多キ中ニ仮令一二傷心ノ

事アルモ以テ此喜樂ヲ減スルニ足ラズ心中トナク愉快

活潑シテ怡モ春ノ如キ心地スルナリ然ルニ一國日ヲ經

二三週間ヲ過スヨ從テ漸ク故郷ノ我意ニ適セザル所アル

チ悟リ義キノ愉快活潑モ忽チ去テ其跡ヲ留メザルト多シ

宿村院村家相接シ父兄故舊人甚ダ多シト雖ニ不幸コシテ

外ニ出デズ人ニ新陳交代生死ノ變化コソアレ其全体ノ趣

中ニ一人ノ活眼者ヲ見テ思想ノ區域ハ一家农食住居ノ事

、親戚吉凶慶吊ノ往來、又ニ春秋風雨山田一年ノ豐凶等ノ

ノ状況ヲ尋ねる事日月出没ノ同一事ヲ幾度トナク輪回

ハ今日モ五七年前モ咸ハ二十年前モ又恐フクハ五六

十年ノ昔モ寒衣暑往日月出沒ノ同一事ヲ幾度トナク輪回

スルノヨニテ一個ノ新面目ヲ添エタルヲ見ズ都會ヨリ歸

村タル人ト聞カバ無事ヲ祝フ挨拶ノ次キニハ先ツ都會

ノ有無ヲ問フナドノ事ヨソアルベキコト云ル事トハ未

セナク却ク唯歸來ノ人ヲ捕ヘア留守中村内ニ發生シタル

幾多ノ針小件ヲ捧大事ニ言倣シテ彼レ是レト報告ノ新聞

ノ權太ガ小悴ニ近來甚ダワンバク者ニナリ餓鬼共ナ蒐リ

集メテ麥畠ノ中ヲ懸レン坊ヲスルナド言語同曉ニエ此程

引捕ヘテ脛邊ヲ叩キ置マタレバ必ズ懲リタルニ相違ナシ

足下モ大コ安心ナルベシ又裏町ノ阿花坊モ今年取リナ十

六歳ナレバ最早決シテ油斷ハナラズ昨日八幡宮祭禮ノ

晩モ横町ノ八兵衛ガ息子ト手ヲ引合ヒテ歩イテ居タト

云フニユニ是レモ闇達ノ起フヌ前ニ何トカ工夫ナセズバ

ナルマジ足下ノ意見ハ如何ナド面白サウニ大切サウニ自

問自答シテ得意然タル者滔々皆然リ偶ニ此方ヨリ少シク

談柄ナ居村外ノ事ニ解シ鉄道汽船ノ便、外國貿易ノ利、新

聞紙ノ功能、政治法律等ノ性質ヨリ學問ノ必要ナル理由

等ヲ説明シ聊カ當代都會ニ行ハル、文明ノ何物タルナ知

ラシメ自カラ提起スルノ堵ナ得セシメントスレバ彼等ハ

馬耳東風ノミ、時ニ或ハ調子ヲ合セテ唯々スル「アルモ

更ニ心頭ニ留ムル」ナク説明少シク長キニ亘レバ忽チ倦

テ眠ナ思ハザル者ハ甚々稀ナリ果テハ新歸リノ何某ニ面

ケレバ誰テ彼ノ家ヲ訪フ勿レトテ始メハ殊遠ノ他人ヨリ

ナリト云フベキ有様ナリ是ガタメ學生ノ失望ハ日ロ甚甚

シク居常快々トシテ樂マズ或ハ鬱散ノタメトテ過度ノ酒

色ニ身ナ失ハザレバ再ビ故郷ヲ辭シテ自己ノ身心ニ適應

シテ此方ヲ推シテ村中ノ長者ト尊敬セシナド、ハ實ニ

タル都會ニ來リ永ク墳墓ノ地ト爲ステ例トスルナリ

シテ其官職ノ重任ニ加フルニ其性得ノ才智ナシテ

思ヒモ寄ラザル望ミニテ狂人ナシ以テ目セラレザレバ大幸

ナリト云フベキ有様ナリ是ガタメ學生ノ失望ハ日ロ甚甚

シク居常快々トシテ樂マズ或ハ鬱散ノタメトテ過度ノ酒

色ニ身ナ失ハザレバ再ビ故郷ヲ辭シテ自己ノ身心ニ適應

シテ此方ヲ推シテ村中ノ長者ト尊敬セシナド、ハ實ニ

タル都會ニ來リ永ク墳墓ノ地ト爲ステ例トスルナリ

シテ其官職ノ重任ニ加フルニ其性得ノ才智ナシテ

思ヒモ寄ラザル望ミニテ狂人ナシ以テ目セラレザレバ大幸

ナリト云フベキ有様ナリ是ガタメ學生ノ失望ハ日ロ甚甚

シク居常快々トシテ樂マズ或ハ鬱散ノタメトテ過度ノ酒

色ニ身ナ失ハザレバ再ビ故郷ヲ辭シテ自己ノ身心ニ適應

シテ此方ヲ推シテ村中ノ長者ト尊敬セシナド、ハ實ニ

タル都會ニ來リ永ク墳墓ノ地ト爲ステ例トスルナリ

シテ其官職ノ重任ニ加フルニ其性得ノ才智ナシテ

思ヒモ寄ラザル望ミニテ狂人ナシ以テ目セラレザレバ大幸

ナリト云フベキ有様ナリ是ガタメ學生ノ失望ハ日ロ甚甚

シク居常快々トシテ樂マズ或ハ鬱散ノタメトテ過度ノ酒

ハ西洋土産ノ談ナ聞カントハセズシテ却テ留守中ノ大小

事件ノ始末ヲ告ケテ共ニ安心テ促カスノ意味ナキカ我輩

ハ前節ニ記シタル田舎學生ノ實驗ヲ思ヒ出テ、參議ノ地

盤正ニ斯ノ如シト云フニハ万々アラズト雖モ諺ニ所謂知

ニ遇キザルセノト知ルガ故ニ同情相憐ナム心參議ノ心中

如何ナ察シテ竊カニ疑懼スル所ナキヲ得ズ我輩ハ伊藤參

思フナリ

雜報

○内閣會議・昨日ハ内閣會議の定日なるを以て國大臣各

參議より出頭、伊藤參議も歸朝后人々にて同會

議へ出席せりる由

○細川元老院幹事・衛生事項檢察のため出張したる中央

衛生會長細川元老院幹事ハ本月二十日群馬縣ふ着し管内

各郡の巡回を始めた

○鍋島元老院幹事・衛生事項檢察のため出張したる中央

衛生會長細川元老院幹事ハ本月二十日群馬縣ふ着し管内

各郡の巡回を始めた

○野村驛遞總官・野村驛遞總官ハ本月二十五日宇都宮を

發し柄木へ着し去廿七日同所より前橋へ向け出發せし旨

電報あり

○黒川少將・西部檢閱使黑川少將ハ參謀部岡澤大佐吉澤

中保養のひめ去廿六日箱根宮の下へ出發し

○川口一等副監督・東京鐵台會計部長川口一等副監督は

會計監督其他數名を隨ヘ本日横濱出帆の東京丸に搭じ神

官邸にて同所より前橋へ向け出發せし旨

電報あり

○臨場代理・今般北海道院内炭鐵道開業式には農商務

卿輔とも臨場なきを以て當時同所工業事務所出張中なる

赴きる

○アーネルト殿・同殿下にハ昨日俄かよ鎌倉地方へ

赴きれ同日午後十一時の漁車にて鎌倉せられたり又昨日

午後三時比より獨逸公使館の招待より同館へ赴かれ近

々箱根温泉へも赴くるゝ由より歸京の上に直ちに野州日

光山を遊覽せらるゝ都合ありと云ふ

○バーチス氏・國氏ひい急本日出發任地清國へ赴くに付

昨日は早朝より三條太政大臣を始め左大臣諸參議の邸へ

告別お通さりと云ふ

○會公使・英佛俄三國駐日本公使會澤氏ふへ日下清

佛事性交渉の折桂清國大統領フニー氏も家用向きて

歐洲にて種々の取扱はありし程なりしが同公使は此頃